強い東北の創造

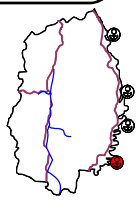
Ⅰ．グローバル化に対応した「自立した経済システム」を支える基盤整備

Ⅰ－１．船舶の大型化に対応するため、岸壁の整備を推進します。

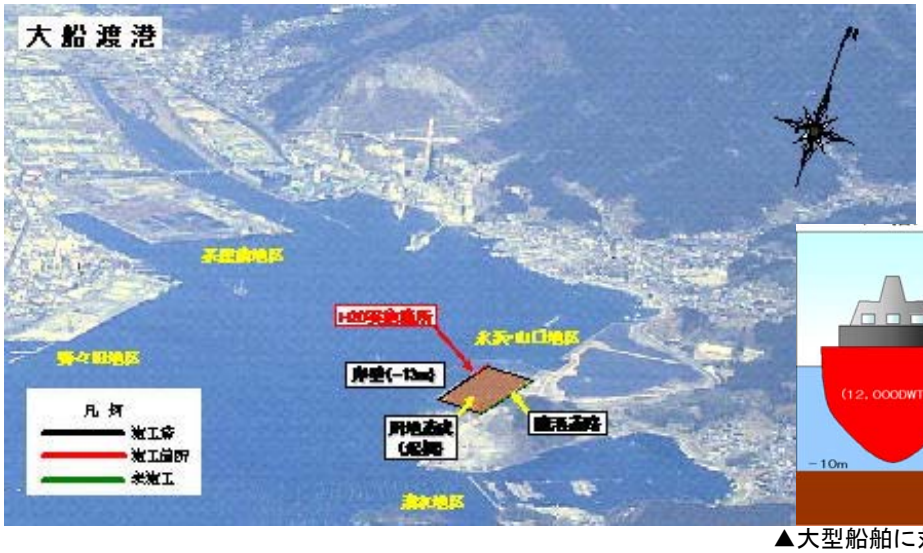
岸壁の整備により、岸壁の不足が解消するとともに、大型船舶での輸送が可能となり、物流コストの縮減が図られます。

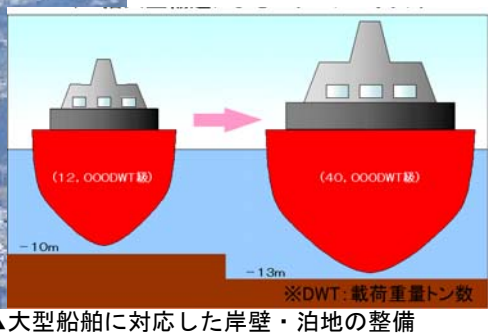
●［岩手県］大船渡港永浜地区多目的国際ターミナル整備事業（直轄）

【平成 22 年度完成予定】



・岸壁上部および裏込の整備を実施し、事業の進捗を図ります。





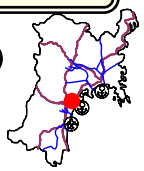
▲大型船舶に対応した岸壁・泊地の整備
（一括大量輸送によるスケールメリット）

Ⅰ－２．港湾と高速道路を直結し、物流の効率化により国際競争力を強化します。

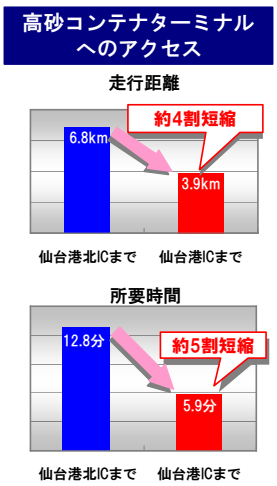
港湾に直結するＩＣを設置し、物流の効率化を図ります。

●［宮城県］常磐自動車道　国道６号　仙台東部道路「仙台港ＩＣ（仮称）（直轄）

【平成２０年代前半完成予定】







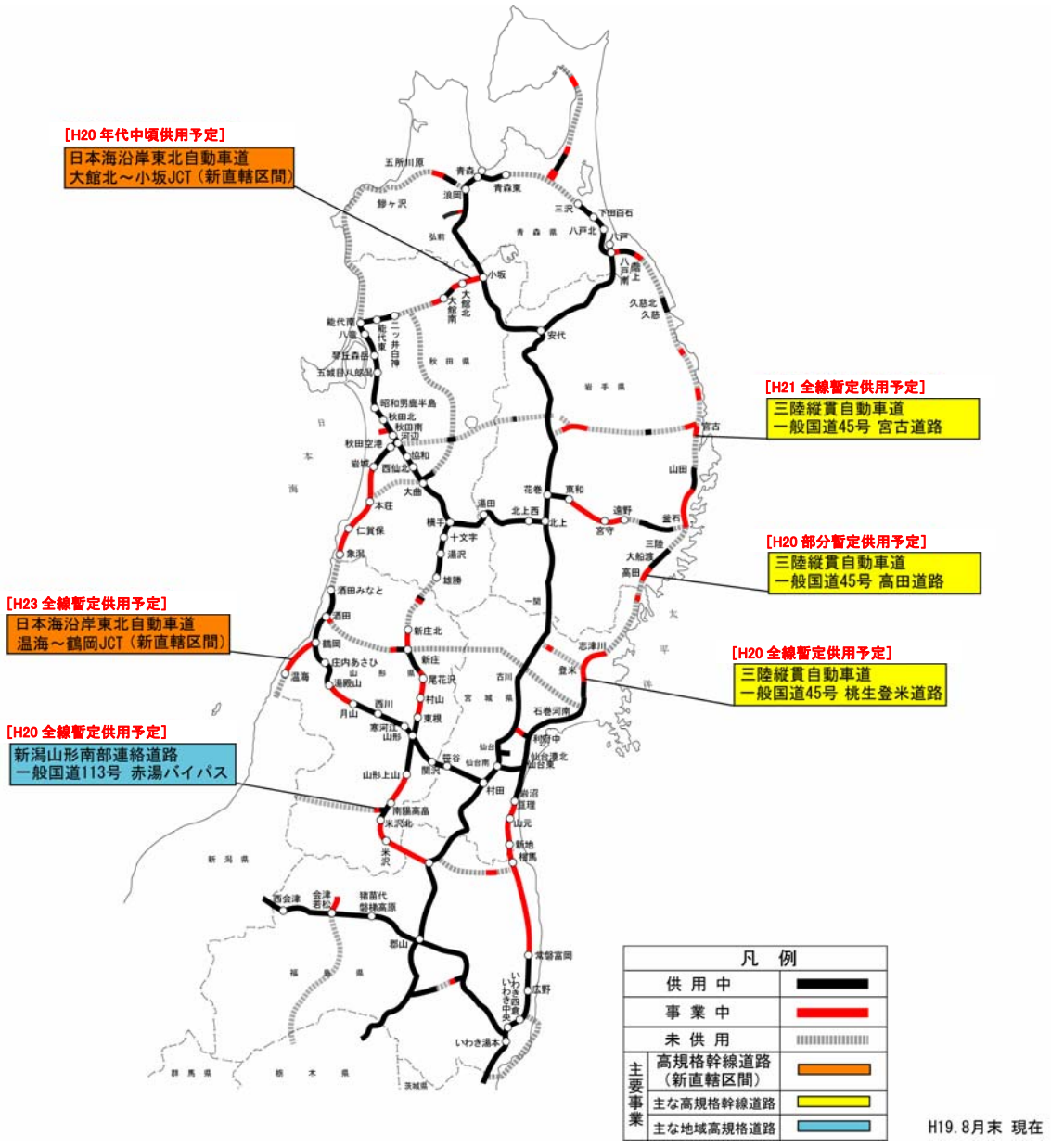
Ⅱ．地域間の交流・連携の強化、広域的な生活圏の形成

Ⅱ－１．都市と中山間地域の交流・連携の強化と広域的な生活圏の形成を支援するため、高規格幹線道路・地域高規格道路等の幹線道路の整備を推進します。

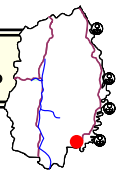
●格子状骨格道路ネットワーク事業（東北６県）

		全体計画	H18 末まで		H19 末まで		H20 末まで	
			延長（km）	供用率	延長（km）	供用率	延長（km）	供用率
高規格幹線道路	全国	14,000	9,073	65%	9,325	67%	―	―
	東北	2,204	1,411	64%	1,485	67%	1,498	68%
地域高規格道路	全国	6,950	1,729	25%	―	―	―	―
	東北	660	89	13%	94	14%	105	16%

［東北地方における格子状骨格道路ネットワーク］



地域間交流や地域経済発展・活性化のため、安全で確実な交通の確保を図ります。



●［岩手県］一般国道４５号　高田（たかた）道路（直轄）【平成 20 年度部分暫定供用予定】

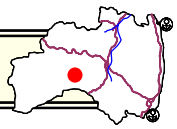
・陸前高田市米崎町～大船渡碁石海岸 IC 間 L=３．４ｋｍについて、舗装及び付属施設工事を実施し、部分暫定供用を目指します。





▲陸前高田市から大船渡市までの所要時間が短縮され、迅速で安心な交通を確保

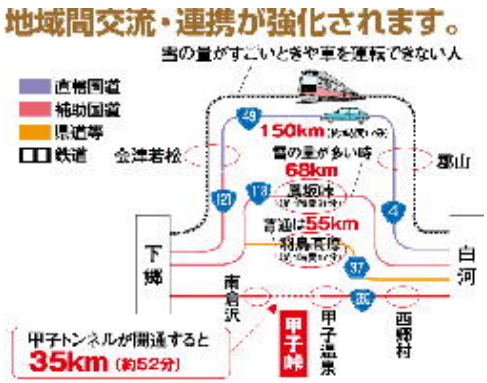
通行不能区間の解消により、地域間交流・連携が期待されます。



●［福島県］一般国道２８９号　甲子（かし）道路（直轄権限代行）【平成 20 年度完成予定】

・管理施設及び舗装工事を実施し、全線完成供用を目指します。





高速交通ネットワークにより、緊急時の代替路の確保や広域観光ルートの形成、港湾・空港等へのアクセス向上及びカバー圏が拡大されます。



●［秋田県］日本海沿岸東北自動車道　大館北（おおだてきた）～小坂（こさか）（新直轄）

【平成 20 年代中頃完成予定】

・用地買収・改良工事の継続推進を図るとともに、全線において、土工・トンネル工事・橋梁工事を行い、事業の進捗を図ります。



▲大館市釈迦内から終点方向を望む



▲広域観光ルートが形成



▲国道の代替ルートを確保

●［山形県］日本海沿岸東北自動車道　温海（あつみ）～鶴岡（つるおか）（新直轄）

【平成 23 年度全線暫定供用予定】

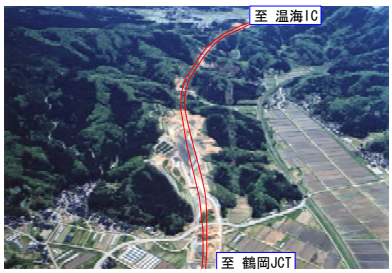
・温海ＩＣ～鶴岡ＩＣ間（Ｌ＝２６ｋｍ）全線において、土工・トンネル工事・橋梁工事を行い、事業の進捗を図ります。







▲国道７号の越波状況



▲鶴岡大広地区より温海ＩＣ方向を望む

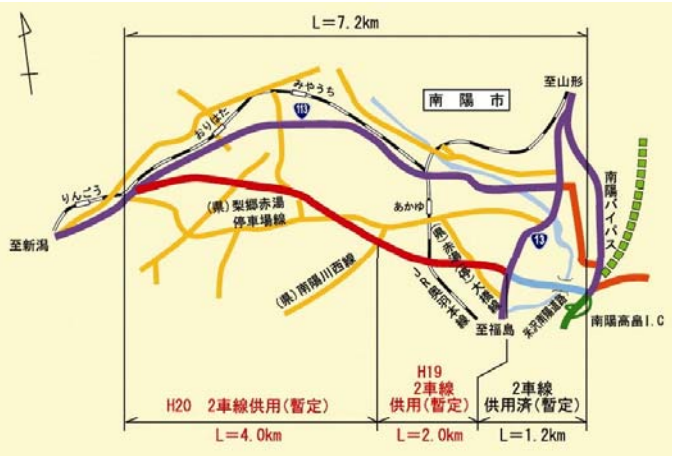
大型車通行規制区間が回避されるとともに、市街地の現道交通量の減少等、住民の安全と生活環境が改善されます。

●［山形県］新潟山形南部連絡道路　一般国道１１３号　赤湯（あかゆ）バイパス（直轄）

【平成 20 年度全線暫定供用予定】

・南陽市大字竹原～南陽市大字島貫間 L=４.0km において、土工・舗装工事を実施し、全線暫定供用を目指します。







▲南陽市赤湯の混雑状況